

TATTING SHUTTLE・BOBBIN

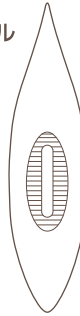
タティングシャトル・ボビン

使い方説明書

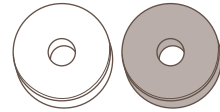
この説明書は、57-737 タティングシャトル・ボビン(ホワイト)、57-738 タティングシャトル・ボビン(ブラウン) 共通の使い方説明書です。

内容

シャトル 1個



ボビン 2個



ストッパー 1個



ワッシャー 2個

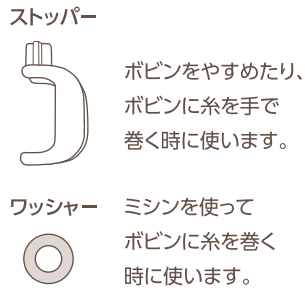
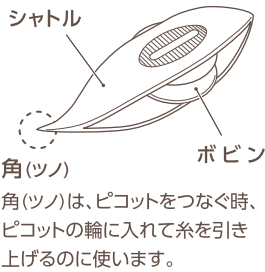


(ワッシャーは、小袋に入った状態で、台紙の内側に貼り付けてあります。)

紛失等でワッシャーのみの購入をご希望の方は、クロバ(株)「お客様係」までお問い合わせください。

使い方

糸を巻いたボビンをシャトルにセットして使います。

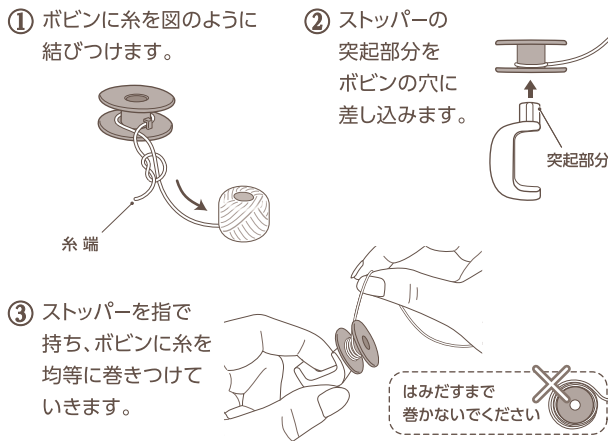


[便利な使い方] シャトルを2個使う作品を編む時は、使う方のボビンをシャトルにはめ、もう片方にストッパーをつけてやすませます。



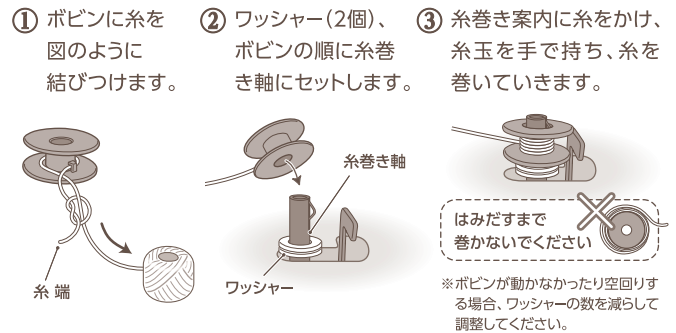
糸の巻き方

[手で巻く場合]



[ミシンを使って巻く場合]

ミシンの下糸巻き機能を使用します。スピードを低速にし、少しずつ様子を見ながら巻きます。ミシンの操作方法などは、お手持ちのミシンに従ってください。 ※必ず家庭用ミシンをご使用ください。(工業用ミシンは使用できません)



ボビンのセットの仕方

シャトルの横側から差し込み、カチッ音がするまで押し込みます。



糸の繰り出し方



ボビンの外し方

ボビンを外したい時は、シャトルの横からボビンを指で押し出します。

使用上の注意

- ・用途以外でのご使用は避けください。
- ・過度の力が加わると破損や変形の原因となります。
- ・お子様の手の届かないところに保管してください。
- ・本体にセットするボビンは、必ず付属のもの、または別売のスペアボビンセット(57-739、57-740)をお使いください。他のボビンは使用できません。
- ・収納や持ち運びには、別売のタティングシャトル・ボビンケース(57-707)が便利です。

△ 注意 安全確保のため取り扱いにご注意ください。

▼製品に不都合な点がございましたら、お買上げ店名をご記入の上 クロバ(株)「お客様係」まで現品をお送りください。

クロバ株式会社
〒537-0025 大阪市東成区中道3-15-5
「お客様係」TEL. (06)6978-2277

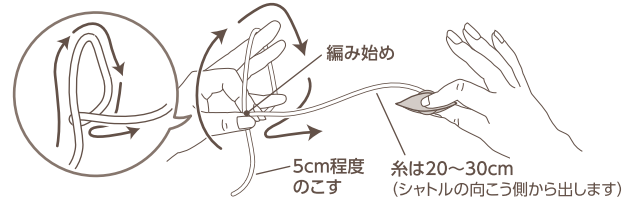
基本の結び方



*糸はつながっていますが、図を分かりやすくするため、指で押さえたところからシャトル側の糸の色を変えています。



リングを作る時の持ち方



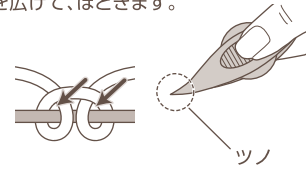
左手 親指と人差し指で糸をつまみ、図のようにぐるっと一周まわしかけて、輪を作ります。

右手 親指と人差し指でシャトルの中央を持ちます。

糸のくぐらせ方 シャトルで糸をくぐらせる時、シャトルから指を離さずに行くとスムーズな動作になります。



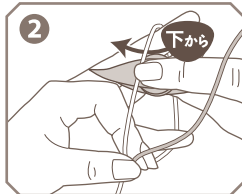
ほどき方 シャトルのツノを矢印の部分に差し込み、目を広げて、ほどきます。



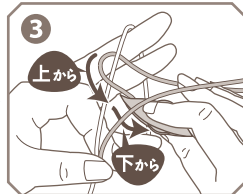
表目の結び方



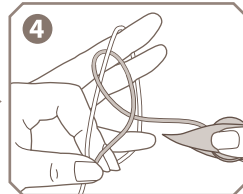
シャトルを持った右手の糸を小指側から手の甲の上へ回します。



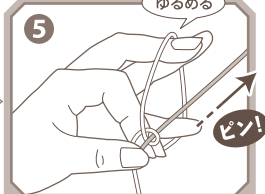
シャトルを指で持ったまま、左手にかかった糸の下側をくぐらせます。(左手にかかった糸が右手の人差し指の腹とシャトルの間を通ります)



2でくぐった糸の上を通り(左手にかかった糸が右手の親指の腹とシャトルの間を通ります)、右手の甲にかけた糸の下をくぐってシャトルを右へ引きます。



右手の甲にかけた糸をはずします。



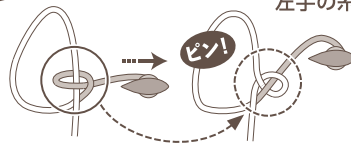
左手の中指を曲げて糸をゆるめ、シャトルを引き、右手の糸をピンと張ります。



左手の中指をのばして、できた目を人差し指の先まで引き寄せます。

表目のできあがり

Point



右手の糸をピンと張ることで結び目が移ります

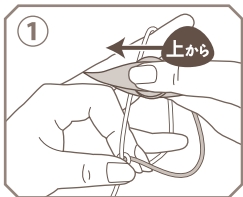
シャトルの糸が軸系になり、左手の糸が巻きついた状態にします



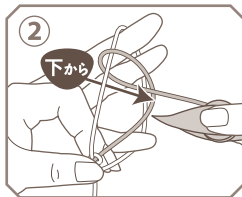
5で左手の糸をゆるませないまま、右手の糸を張ると結び目が移らず、左手の糸が軸系になってしまいます。

表目に続いて裏目を結びます

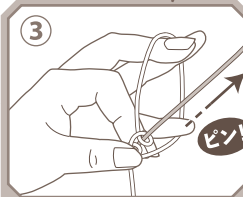
裏目の結び方



シャトルを指で持ったまま、左手にかかった糸の上側を通します。(左手にかかった糸が右手の親指の腹とシャトルの間を通ります)



左手にかかった糸の下側からシャトルをくぐらせ、右へ引きます。(左手にかかった糸が右手の人差し指の腹とシャトルの間を通ります)



表目と同じようにシャトルを引いて右手の糸をピンと張り、できた目を引き寄せます。

裏目のできあがり

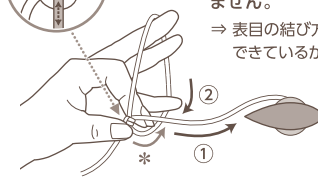
1目結んだら、確認!

シャトルから出た糸(1)を引っ張った時、目の手前の糸(2)が動くかどうか確認します。



糸が動かない時は...

シャトルから出た糸が軸系になっていません。
⇒ 表目の結び方⑤と裏目の結び方③ができているか、確認してください。



編み進むと...

左手の輪が小さくなっていきます。
⇒ 目の手前の糸(*)を引っ張ると、輪を広げることができます。